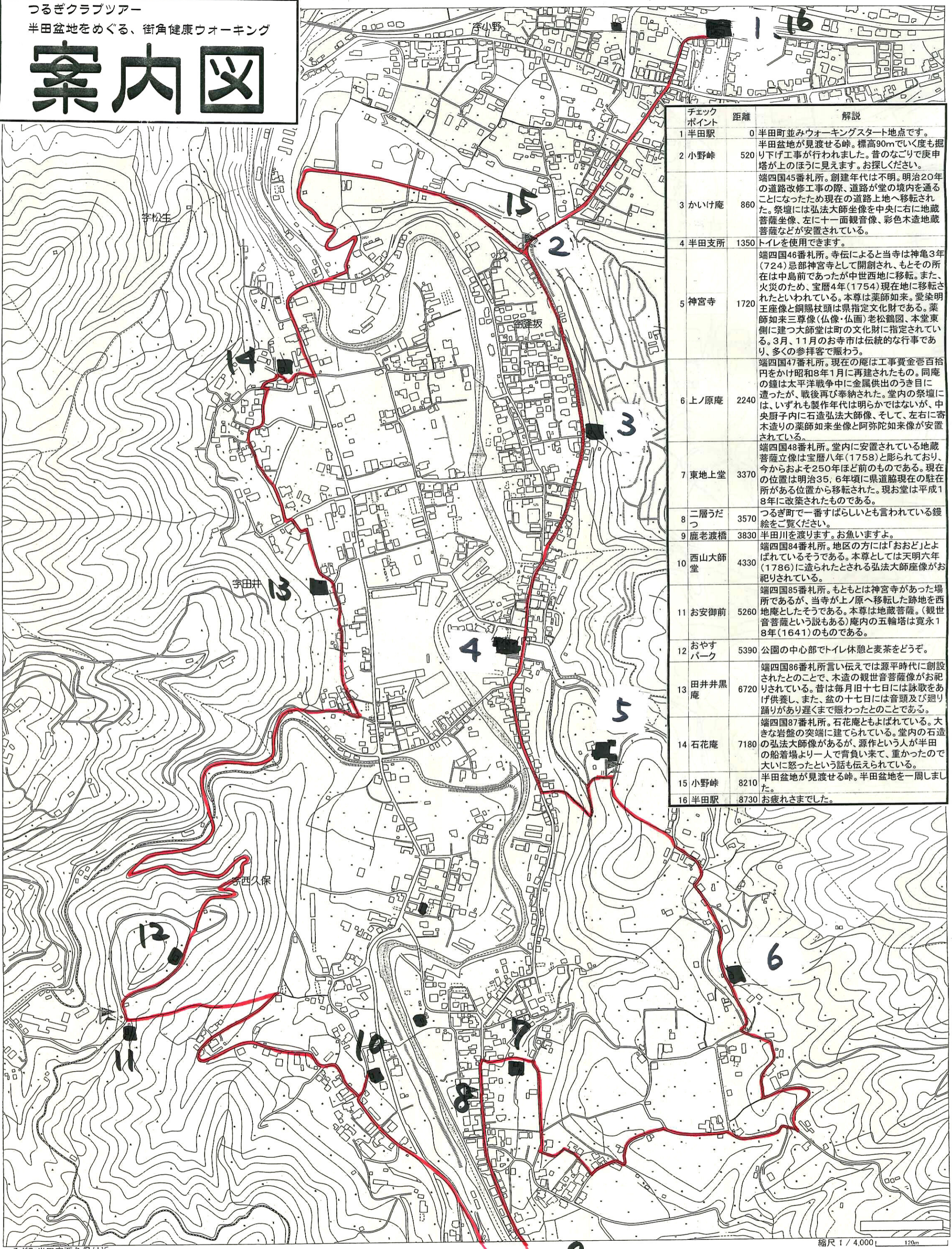


つるぎクラブツアー
半田盆地をめぐる、街角健康ウォーキング

案内図



チェックポイント	距離	解説
1 半田駅	0	半田町並みウォーキングスタート地点です。
2 小野峠	520	半田盆地が見渡せる峠。標高90mでいく度も掘り下げ工事が行われました。昔のなごりで庚申塔が上のほうに見えます。お探ください。
3 かいけ庵	860	端四国45番札所。創建年代は不明。明治20年の道路改修工事の際、道路が堂の境内を通ることになったため現在の道路上地へ移転された。祭壇には弘法大師坐像を中央に右に地藏菩薩坐像、左に十一面観音像、彩色木造地藏菩薩などが安置されている。
4 半田支所	1350	トイレを使用できます。
5 神宮寺	1720	端四国46番札所。寺伝によると当寺は神亀3年(724)忌部神宮寺として開創され、もとの所在は中島前であったが中世西地に移転。また、火災のため、宝暦4年(1754)現在地に移転されたといわれている。本尊は薬師如来。愛染明王座像と銅錫杖頭は県指定文化財である。薬師如来三尊像(仏像・仏画)老松鶴岡、本堂東側に建つ大師堂は町の文化財に指定されている。3月、11月のお寺市は伝統的な行事であり、多くの参拝客で賑わう。
6 上ノ原庵	2240	端四国47番札所。現在の庵は工事費金言百拾円をかけ昭和8年1月に再建されたもの。同庵の鐘は太平洋戦争中に金属供出のうき目に遭ったが、戦後再び奉納された。堂内の祭壇には、いずれも製作年代は明らかでないが、中央厨子内に石造弘法大師像、そして、左右に寄木造りの薬師如来坐像と阿彌陀如来像が安置されている。
7 東地上堂	3370	端四国48番札所。堂内に安置されている地藏菩薩立像は宝暦8年(1758)と彫られており、今からおよそ250年ほど前のものである。現在の位置は明治35、6年頃に県道脇現在の駐在所がある位置から移転された。現お堂は平成18年に改築されたものである。
8 二層うだつ	3570	つるぎ町で一番すばらしいとも言われている鏝絵をご覧ください。
9 鹿老渡橋	3830	半田川を渡ります。お魚いますよ。
10 西山大師堂	4330	端四国84番札所。地区の方には「おおど」とよばれているそうである。本尊としては天明六年(1786)に造られたとされる弘法大師座像がお祀りされている。
11 お安御前	5260	端四国85番札所。もともとは神宮寺があった場所であるが、当寺が上ノ原へ移転した跡地を西地庵としたそうである。本尊は地藏菩薩。(観世音菩薩という説もある)庵内の五輪塔は寛永18年(1641)のものである。
12 おやすパーク	5390	公園の中心部でトイレ休憩と麦茶をどうぞ。
13 田井井黒庵	6720	端四国86番札所言い伝えでは源平時代に創設されたとのことで、木造の観世音菩薩像がお祀りされている。昔は毎月旧十七日には詠歌をあげ供養し、また、盆の十七日には音頭及び廻り踊りがあり遅くまで賑わったとのことである。
14 石花庵	7180	端四国87番札所。石花庵ともよばれている。大きな岩盤の先端に建てられている。堂内の石造の弘法大師像があるが、原作という人が半田の船着場より一人で背負い来て、重かったので大いに怒ったという話も伝えられている。
15 小野峠	8210	半田盆地が見渡せる峠。半田盆地を一周しました。
16 半田駅	8730	お疲れさまでした。